

Summer Cafeを 開催しました

日時：2011年9月14日(水)
10:00~12:30

今年も夏期の新任教員研修企画として、Summer Cafeを9月14日に、前回と同様、関西大学着任後3年以内の先生方を対象として開催しました。

今回は、着任後の活動を振り返りながら意見や情報などの交換を図る午前の部と、午前の部以上に自由に語り合うランチミーティングの部の2部構成としました。

午前の部を開始するにあたってはクリッカーを用いたアイスブレイクを試みました。これは授業における学生と教員間のコミュニケーションチャンネルの一案として提示したものです。参加者の中には独自で同様のツールを創作された方もあり、このようなツールへの関心の高さがうかがわれました。

その後ダイアログをしました。意見や情報を具体的なものにするために、振り返る内容をいくつかの項目に絞りました。具体的には、組織、学習環境、カリキュラム、教員同士の情報

交換、そして授業(シラバス、授業設計、評価等)のそれぞれにおいて、比較的良好な状態にあるもの、そうとはいえないものをマップ風に提示し、以後のダイアログのきっかけを作りました。

「比較的良好な状態にあるもの、つつがなく展開している実践」については、それを可能にしていると思われるキーフアクターを参加者が等しく認識できるように、つまり共有できるように、他方、「良好な状態にあるとはいえない事柄」については、それを課題としてどのように解決するのが良策と考えられるかについて、それぞれ意見や情報を出し合いました。

授業について比較的良好な状態にあるものとして、「学生とのコミュニケーションを図るために教材を工夫している」、「成績評価について工夫している」といった実践事例が示され、その具体的な方法について担当者に開陳していただきました。また、授業の運営等を巡る課題としては、「私語についての問題」、「他の授業との関連性(カリキュラム上の関係)を十分に把握できていない」、「グループワークのグループ分けの方法に困る」といった意見が出され、これらの課題にどのように対処していけばよいのかについて参加者全員で話し合いました。なお、授業

の運営を巡る課題については、春学期に実施された授業評価アンケート結果の速報も資料として提示され、話し合いのヒントとなりました。

Cafe 閉店後のアンケートでは「よかった点は、自分が所属していない学部の方の先生方のご意見を伺うことができた点です。」「学生の学びを支援するツールをご紹介いただいた点も感謝しております。大学で提供している各種ツールについて理解が不足しているため、有意義な時間を過ごすことができました。」といった意見が参加者の先生方から寄せられました。

このほか、「大学1年生向けのゼミ・導入科目を担当する教員を対象とした研修を希望する」といった声が寄せられました。その開催については是非とも前向きに検討していきたいと思います。

(教育推進部 岩崎千晶・三浦真琴)



Summer Cafeのワークに取り組む先生方

TA研修を開催しました

日時：2011年9月15日(木) 10:00~12:30

9月15日に第4回TA研修を開催しました。秋学期に活動するTA42名のうち、27名が研修に参加しました。今回の研修も、前回に引き続き2部構成で実施しました。第1部は、今学期にはじめてTAとなる新人TAのみの研修、第2部は新人TAとTA経験がある継続TAを交えた研修としました。

第1部では、関西大学教育開発支援センターにおけるTAがどのような活動をしているのかを把握すること、高等教育における政策動向について理解すること、そしてTAの基本的な業務態度や事務的な手続きについて確認することを目的とし、レクチャー形式で進めました。

第2部では、新人TAと継続TAが交流することで、TA同士で学び合う場を設けました。まずはミニレクチャーとして、学内で活用できるICTシステムであるインフォメーションシステム、CEAS/Sakaiシステム、関西大学SNS、クリッカー(双方向コミュニケーションを可能にするオーディエンスレスポンスシステム)、Handbook(スマートフォンに問題を配信できるシステム)の概要や利用方法について話しました。

その後、TAは下記から希望するテーマを選び、グループに分かれて、ワークショップを行いました。

- ①グループワークにおいて、学生の考えを引き出したり、学生の合意形成を支えたりする工夫
- ②ミニッツペーパーやCEASへの投稿へのまとめやコメント提示における工夫
- ③教材や小テストを作成、添削、解説する際の工夫
- ④統計など数学を用いた授業は苦手だと感じる学生に、興味を持たせ、理解を促すための工夫
- ⑤外国語への興味関心を高めることや、発音指導における工夫
- ⑥学力や動機に差がある学生への対応における工夫

ワークショップでは、まず継続TAは、「TA活動でうまくいっていること」「うまくいっていないこと」を付箋に書き込み、新人TAは、「上手にできるようになりたいこと」「継続TAに聞いてみたいこと、不安に思っている

こと」について付箋に意見を記し、ブレインストーミングをしました。その後、KJ法を活用し、提示された意見をカテゴリ化することでうまくいっている活動を共有し合い、課題となっていることを解決するように試みました。

たとえば、「①グループワークにおいて、学生の考えを引き出したり、学生の合意形成を支えたりする工夫」では、継続TAから活動でうまくいっていることとして「グループ内であまり発言できていない学生には経験談などを話させるなどして発言の機会を与えてあげる。いきなり意見やアイデアを出してと言われても、すぐにできる学生とできない学生がいる。できない学生には経験談が話しやすいので、その話からTAがアイデアを拾う」という意見が出ました。ほかにも、「とても良く発言する学生、発言したい学生をどのように上手に聞き役に回してあげるか、グループがその子の意見に引っぱられる場合がある」といった意見もあげられました。また、新人TAからは、継続TAに聞いてみたいこととして「学生からの質問にうまく答えられなかったらどうすべきか」等の意見が寄せられ、継続TAがそれについての意見を話し合う場面も見受けられました。また継続TAからも「グループワークのとき学生それぞれの興味が違う場合、どの意見を取るか(グループの総意見をまとめると)」といった疑問が出され、活発な意見交換がなされました。

第2部終了後は、TA同士の交流を深めるために、TA情報交換会を開催しました。自由参加でしたが、多くのTAが参加し、研修とは違った雰囲気の中で意見交換が行われました。

TA制度に関するご意見・ご提案をお待ちしています! 連絡は、
ciwasaki@kansai-u.ac.jpまでお願いします。

(教育推進部 岩崎千晶)

TA通信を毎月発行しています!

TSネットワークでは、TA通信を毎月発行しています。TA通信は、TAを活用した授業実践の事例を教員同士が共有し合うこと、TAが活動の中で工夫している点をTA同士で共有することを目的としております。TA活動の概要や、TAの視点による学生との対話や学習補助における工夫を紹介しています。ぜひ一読ください!

URL <http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/outline/ta05.html>